

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立西公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	11.0km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	令和2年度(旧施設は昭和48年度)		構造	RC一部鉄骨造建		
	延床面積	991.04m ²		敷地面積	2,645m ²		
	室名	■集会室A ■集会室B ■集会室C ■集会室D ■多目的ホール					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,996	2,198	2,499	2,909		
	前年度比	-21.2%	10.1%	13.7%	16.4%		
	参加者負担金	74	24	48	64		
	前年度比	1.4%	-67.6%	100.0%	33.3%		
	軽印刷その他雑入	155	110	124	241		
	前年度比	-26.9%	-29.0%	12.7%	94.4%		
	計	2,225	2,332	2,671	3,214		
支出	活動費(0101)	167	196	141	188		
	維持管理費(0102)	5,070	5,186	4,993	7,079		
	事務費 (0103)	人件費	9,681	9,726	10,217	10,719	
		その他	438	359	1,441	566	
	計	15,356	15,467	16,792	18,552		
	前年度比	1.5%	0.7%	8.6%	10.5%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	48,543	20,069	26,821	29,220	
		利用件数	3,296	2,224	2,873	3,100	
		利用日率	78.1%	61.5%	86.6%	91.3%	
		コマ稼働率	37.0%	30.5%	35.0%	35.3%	
	事業	事業日数	131	74	100	112	
		参加者数	6,742	692	1,816	1,910	
	図書 室	利用者数	3,115	4,021	6,996	7,130	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	その他	納税取扱件数	0	0	0	—	
令和3年度方針		令和3年度運営方針に公民館の基本的な役割である、「つどい」・「まなぶ」・「むすぶ」の3つを定め、引き続き、地域住民から愛され、親しまれる公民館づくりに努めるとともに、まちづくりや生涯学習の拠点としての公民館活動の充実を図る。 また、安全・安心な施設運営に努めるとともに、地域の団体や関係機関等との連携・協働を図る。					
令和3年度改善事項		新型コロナウイルス対策に努めながら、各種自主事業を効果的に実施するとともに、西公民館のホームページを随時更新し積極的に情報発信することができた。 また、新しくなった公民館施設の安全・安心かつ円滑な維持管理及び運営に努めることができた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>年2回開催した公民館運営協議会における委員からの提案や意見等を参考に、新規事業を実施するとともに既存事業の充実に努めた。また、利用者からの意見等を聞いて、より良い施設の管理・運営に努めた。</p> <p>公民館運営協議会委員や公民館職員の研修機会については、新型コロナウイルス感染症の影響により各種研修会が動画配信等による開催となったため、十分な対応ができなかった。</p> <p>公民館の自主事業等については、随時ホームページを更新するとともに、広報はだの、まほろば秦野通信などを活用して情報発信に努めた。また、館内にポスターを掲示するとともに、地域のこども園や西小学校にチラシを配布するなどして周知を図った。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	5			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>西地区住みよい町づくり運動推進委員会の構成団体、各自治会、利用団体等と連携を図り、地域の課題の把握に努めた。</p> <p>事業の住民参画については、婦人会、青少年指導員等の関係団体と連携して事業計画を立案し、地域の特色ある事業を実施するとともに、利用団体の協力により新規の講座等を実施することができた。</p> <p>また、新型感染症の拡大により中止となった西公民館まじりの代替事業として、利用団体の活動成果を発表する場である「西のやまなみ大作品展」を開催するとともに、西中学校と連携して生徒の活動の場をつくり、図書ボランティア講座や吹奏楽部による演奏会を実施した。</p> <p>さらには、地域住民等に対する情報提供については、ロビーワークを展開して、公民館講座の案内、図書や行政に関する情報などを様々な場面を通して提供することができた。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			<p>コロナ禍において、公民館の利用制限もあり、利用者が満足する活動はできなかったと思われるが、安全・安心を念頭においた感染症対策を含めた施設の利用方法等については、多くの利用団体が実情を理解して活動を展開できたと感じている。</p> <p>利用者に対しては、親切かつ丁寧な窓口対応や電話対応に心がけ、職員が一丸となって地域から愛され、親しまれ、笑顔で集ってもらえる公民館づくりに努めることができた。</p> <p>図書室については、定期的にブック展を開催するとともに、本のディスプレイや配架等を工夫して、誰もがわかりやすい、見やすい、利用しやすい図書室づくりに心がけた。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	5			
	評価	4	5	5	
<p>評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)</p>					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>新型感染症の影響が続く中、一部自主事業を中止または縮小せざるを得ない状況であったが、利用者の安全・安心に配慮して新規事業を含め様々な事業を実施することができた。</p> <p>また、地域まちづくりについては、地域の課題把握に努めるとともに、総合計画2030プランにおける地域まちづくり計画を地域の関係団体や住民、学校等と連携・協働して進めることができた。</p> <p>今後も新型感染症との共存を念頭に、事業の展開及び施設の管理運営に努めていきたい。</p>			
内部評価	評価				
運営協議会委員	4	<p>新館という施設面での好条件もあるが、ロビーワークや図書室のディスプレイなど、旧館時代から積み重ねてきた取組みが更に生かされている。また、コミュニティ・スクールの拠点としての事業提案やHP等での情報発信など積極的な姿勢が伺える。</p> <p>今後の課題として、地震等の急な災害における公民館の初動体制(特に閉館時間帯の人の手配と市民の受け入れなど)を防災課と連携して再確認し、住民への周知に尽力されたい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	5	<p>新しい建物と共に新しい取り組みの活動が広がっている事を感じる。コロナ禍で色々な規制がある中でも、積極的に活動実施してきたように見受けられる。婦人会や青少年指導員との協力による新規事業への取組や複合施設としての西中学校との共有点を生かした図書館ボランティア活動、吹奏楽部のコンサートなど市内唯一の複合施設としての特徴を生かした活動は評価できる。また、公民館まつり中止に伴う代替事業としての「西やまなみ大作品展」の開催など、公民館利用団体に向けた取組も良いと思う。さらに、ロビーの花の展示、季節に応じた装飾展示なども素晴らしく、これからも市内初の複合型施設として、さらに地域活動の拠点として先進的な活動を期待している。</p> <p>図書室の展示や配置構成には以前から力を入れていられたが、一層の努力があり、利用者の増加につながっていると思われる。</p> <p>体育館の利用としては、学校教育の面や防災関連などこれからの課題ではないかと思われる。</p>			

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	33千人		
施設	開館年度	昭和45年度		構造	鉄筋コンクリート造2階建		
	延床面積	994.26m ²		敷地面積	1,476.45m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■学習室 ■集会室 ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		元年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,889	1,839	2,487	2,909		
	前年度比	-16.4%	-2.6%	35.2%	17.0%		
	参加者負担金	8	13	17	63		
	前年度比	-66.7%	62.5%	30.8%	270.6%		
	軽印刷その他雑入	244	152	139	284		
	前年度比	-7.6%	-37.7%	-8.6%	104.3%		
	計	2,141	2,004	2,643	3,256		
支出	活動費(0101)	241	138	138	186		
	維持管理費(0102)	5,493	5,912	5,032	8,267		
	事務費 (0103)	人件費	9,380	13,718	9,724	10,719	
		その他	445	354	453	652	
	計	15,559	20,122	15,347	19,824		
	前年度比	-1.1%	29.3%	-23.7%	29.2%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		元年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	45,789	22,742	29,482	30,000	
		利用件数	3,233	2,108	2,868	2,900	
		利用日率	74.5%	53.8%	70.1%	71.0%	
		コマ稼働率	33.9%	24.5%	31.2%	32.0%	
	事業	事業日数	166	35	63	65	
		参加者数	6,114	505	1,133	1,200	
	図書 室	利用者数	5,964	5,432	7,101	7,100	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	その他	納税取扱件数	0	0	6	6	
令和3年度方針		「明るく笑顔あふれる公民館」を目指し、地域で活動する団体と連携を深めながら事業展開を図るとともに、サークル活動の活性化に向け、サークル支援を進める。					
令和3年度改善事項		ポスターやチラシの新旧や関心度を考慮した配置場所の工夫による周知の向上。対象を一般とした事業においても子どもの参加を認め、体験学習や家族のふれあいを深めるように努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>公民館運営協議会では、自主事業や維持管理等について協議し、意見交換を行った。特に、自主事業については、当館で力を入れている地域伝承事業のあり方や事業の発信方法等について意見をいただくなど、公民館の活性化に向けて取り組んだ。</p> <p>また、サークル活動の利用者や講座の講師に対して、不便をかけることがないように、全職員の共通認識を図るため、情報共有や引き継ぎの徹底に努めた。</p> <p>小学生や幼児を対象にした事業の参加者増を図るため、小学校や幼稚園以外の公共施設にチラシ配置のお願いをするなど周知に努めた。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>地域のまちづくりの拠点としての役割を果たすため、地域の各種まちづくり団体の利用に関しては、優先予約を図り、活動しやすい環境づくりに努めた。</p> <p>また、自主事業の開催に当たり、自治会や地域の伝統を守る会をはじめ、多くの団体から講師役として指導や協力により、事業の円滑な運営を図ることができた。</p> <p>学校や幼稚園、こども園との連携については、今年度も公民館まつりが中止となり、十分な連携ができなかったが、子どもを対象にした自主事業を数多く実施し、学習の場の提供や参加者の交流を図った。</p> <p>夏休み期間は、多くの児童、幼児に利用していただくよう努めたが、十分な成果が得られなかった。今後は、周知方法を工夫する必要がある。</p> <p>高齢者を対象にした事業は、人気が高く、多くの参加を得ることができた。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関等と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に利用者は満足しているか	5			<p>新型コロナウイルス対策について、利用者の理解を図り、安心して利用できる環境づくりに努めた。また、台風や大雨のキャンセルによる振替については、できるだけ利用者の希望に沿うよう努めた。</p> <p>エレベーターが無くバリアフリー化や、敷地外の駐車場の確保が課題となっているが、引き続き、改善に向け取り組みたい。</p> <p>図書室では、季節ごとにテーマを設定した本の展示や、入替本の周知などにより、利用者数、貸出冊数とも前年度を大幅上回ることができた。</p> <p>施設整備については、空調機や室内照明の修繕など、早急に対応し、快適な環境づくりに努めた。</p>
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	5	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>新型コロナウイルスにより、中止となった自主事業もあったが実施方法の工夫により、予定した約8割の事業を実施することができた。今年度も公民館まつりは中止となったが、利用者の活動発表の場として開催した「南の楽しい発表会」や南公民館の初めての試みの「南の小さな音楽会」は、出演者、観覧者から良い評価をいただいた。今後もまちづくりや生涯学習の活動拠点として寄与していきたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>新型コロナウイルス対策に追われながら、地域のまちづくりの拠点としての役割を果たすとともに、地域との連携を深めることで、公民館活動を有意義なものとしている。また、新たな情報発信や講座運営に取り組むことで、時代のニーズに合った公民館を目指していることが伺われる。今後はバリアフリー化を目指した施設の建替えを、早急に強く要望する。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>コロナ対応での事業の展開の難しさがあったと思う。</p> <p>市内初めての生涯学習施設として、発展してきた南公民館は伝統ある地域にあり、秦野市に古くから伝わる伝統行事の伝承に力を入れて活動を進められている。講師の確保や選定に苦慮されていると思うが、伝統を伝えることを大切に組み込んでいただきたい。</p> <p>元々この地区は、隣の南が丘地区とともに子ども会活動が盛んな地域であるがために、子ども中心の活動になっている。「南キッズクラブ子ども会」やブルーベリー摘み取りとジャム作りなど、地元の人々が協力して実施している活動が地域の活動として息づいている。また、南と南が丘及び大根で実施されているおもちゃの病院なども特徴的である。</p> <p>建物は年代を感じるが、いろいろな飾りがあり、職員の館内を明るく清潔にしようとしている感じが見受けられる。今後とも生涯学習の拠点施設としての役割を担う施設になることを期待する。南地区は湧水が地域の特性であることから、この水を活用した活動も期待したい。</p>			

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立北公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	20Km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成12年度		構造	RC2階建		
	延床面積	1,493.25m ²		敷地面積	2,712.32m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■音楽室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		元年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,331	1,889	2,624	2,909		
	前年度比	-13.3%	-19.0%	38.9%	10.9%		
	参加者負担金	58	43	37	64		
	前年度比	-36.7%	-25.3%	-14.0%	73.0%		
	軽印刷その他雑入	340	446	292	234		
	前年度比	2.1%	31.2%	-34.5%	-19.9%		
	計	2,729	2,378	2,953	3,207		
支出	活動費(0101)	777	719	741	748		
	維持管理費(0102)	6,892	6,711	10,281	8,185		
	事務費 (0103)	人件費	9,331	9,531	10,250	10,720	
		その他	487	318	471	522	
	計	17,487	17,279	21,743	20,175		
	前年度比	-6.7%	-1.2%	25.8%	-7.2%		
	営繕工事費(0200)	4,432	3,730	0	0		
利用状況等	指標名		元年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	40,059	15,677	23,961	30,000	
		利用件数	2,634	1,540	2,362	2,500	
		利用日率	73.2%	48.1%	67.9%	70.0%	
		コマ稼働率	32.1%	18.4%	28.4%	30.0%	
	事業	事業日数	98	36	65	90	
		参加者数	6,039	3,044	2,223	3,300	
	図書 室	利用者数	3,556	3,168	4,174	4,200	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,932	2,368	2,939	—	
	その他	納税取扱件数	12	19	19	—	
令和3年度方針		少子高齢化が進行する中で、地域の生涯学習活動、まちづくりに対応する拠点として重要度が増すことからより一層の地域・学校・利用者団体等と連携を大切に事業展開を図る。あいさつ、声かけ、丁寧な接遇とともに、安全で快適な施設の運営に努め、地域に愛される公民館づくりを目指す。					
令和3年度改善事項		新型コロナウイルスにより自主事業が制約を受ける中で、実施方法を工夫することで安全で安心な開催に努めた。また、文化、芸術のサークルの作品展示について、展示予約や展示期間などルール化し、利便性と施設の有効活用を図った。図書室においては、壁面展示により明るい雰囲気づくりに努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			日頃から利用者の声に耳を傾け、利用上の課題を全職員が共有し、意見を出し合いながら、利用者の立場に立った公民館の運営に努めた。 公民館運営協議会では、公民館活動の現状についてわかりやすい資料に基づき説明するとともに、コロナ感染症により中止となった公民館まつりの代替事業について意見・要望を聴取した。 自主事業の開催・館の運営については、市ホームページや館報による自治会回覧、事業のチラシ等の配付や掲示等により情報を発信を図った。また、講座受講者にアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努め、その結果を自主事業の見直しや公民館運営に生かした。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			
評価		4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			多くのまちづくり団体の利用しやすい環境づくりを目指し、地域課題等の情報収集に図り、まちづくりの拠点となるよう努めた。 自主事業については、生活・現代的課題を踏まえ、シニアを対象とした体操の講座やコロナ渦に対応したズーム会議の講座、また、北のハイキング、芋ようかんづくり等、地域性を生かした事業を展開した。 小中学校や幼稚園との連携については、公民館まつりの中止により、十分な連携ができなかったが、北っこチャレンジ教室の実施のほか、夏休みの学習開放として、夏休み期間中、学習スペースを提供した。また、図書室職員が図書室の利用促進と読書の奨励に向けた積極的な情報提供や相談活動を行った。 当館の自主事業では、講師と受講者が楽しい雰囲気のもとに講座を実施しており、その後、サークルへ入会する人が多く、サークル活動の活性化に結びついている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価		4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			新型コロナウイルスの対策として、部屋の換気、利用後の除菌など、利用者の協力により、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 また、来館者に対して挨拶を徹底し、気持ちよく利用できる環境づくりや声かけなどにより、親しみやすい雰囲気づくりに努めた。 図書室では幼児の利用が多く、減少傾向にあった利用者が大幅に増加した。 受水槽内のポンプの修繕や多目的ホールの修繕など、施設整備に取り組んだ。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
評価		4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	公民館まつりの代替事業として実施した「北の小さな活動発表会」の舞台発表では、ズームアプリにより、自宅での観覧を可能にした。作品展示は好評で、展示期間中に多くの方に来館していただき、大きな成果を上げることができた。 自主事業については、利用者ニーズに対応し、多くの新規事業を企画した。しかし、参加者が少ない事業もあり、対象者の設定や周知方法を工夫などが今後の課題である。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	コロナ渦においても、令和2年度より利用者数は増加した。自主事業については、職員の努力により常に新規事業を模索し、6件実施した。また、公民館まつりが中止となった中で、「北の小さな活動発表会」という事業を企画し、その中で新しい取組を実施した結果、職員・利用者の協力のもと、大きな成果をあげることができた。施設管理においては、修繕の実施や、丁寧な清掃など明るく綺麗な管理運営に努力が伺えるが、老朽化された机など備品類の拡充については今後の対応を期待する。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	北地区の自治会、幼稚園、小学校、中学校では第二の学びの場として公民館が位置付けられていると思われる。事業としても、高齢者向けの健康に重視したストレッチやダンスなどの健康体操、子ども向けの「絵本とお友だち」やブラックパネルシアターや子どもダンスの開催など年齢的にバランスがとれた事業があり、さらに「フォークとポップスの休日」は10年間の長さに渡って開催していることは、職員の努力の賜物であり、地域住民と公民館との密接な関係があることが感じられる。今後は、新東名の開通により、様変わりが見込まれる中、地区の変化に対応した公民館運営が求められると思う。			

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立大根公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6km ²	人口	25千人		
施設	開館年度	昭和54年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,136.14m ²		敷地面積	1,587.03m ²		
	室名	■ 多目的ホール ■ 集会室 ■ 学習室 ■ 和室 ■ 調理室					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,313	2,095	2,711	2,915		
	前年度比	-2.6%	-36.8%	29.4%	7.5%		
	参加者負担金	167	74	95	63		
	前年度比	-3.5%	-55.7%	28.4%	-33.7%		
	軽印刷その他雑入	220	133	120	269		
	前年度比	3.8%	-39.5%	-9.8%	124.2%		
	計	3,700	2,302	2,926	3,247		
支出	活動費(0101)	189	114	160	183		
	維持管理費(0102)	5,953	6,211	6,529	7,196		
	事務費 (0103)	人件費	11,485	11,333	10,165	10,719	
		その他	369	316	464	520	
	計	17,996	17,974	17,318	18,618		
	前年度比	-7.6%	-0.1%	-3.6%	7.5%		
	営繕工事費(0200)	4,551	0	0	0		
利用状況等	指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	37,037	18,401	24,660	25,000	
		利用件数	2,751	1,804	2,600	2,650	
		利用日率	76.3%	57.5%	74.7%	80.0%	
		コマ稼働率	38.0%	26.1%	33.3%	35.0%	
	事業	事業日数	74	56	70	74	
		参加者数	3,395	1,101	1,254	2,500	
	図書 室	利用者数	8,715	8,958	11,327	12,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,234	4,289	4,346	-	
その他	納税取扱件数	9	8	6	-		
令和3年度方針		生涯学習の場及び地域まちづくりの拠点としての機能を発揮できるよう、関係諸団体との連携を図り、地域住民のニーズを的確にとらえた対応に努めるとともに、ウィズコロナに配慮した安全安心の公民館運営を進める。					
令和3年度改善事項		新型感染拡大防止のため、昨年度と同様に「公民館まつり」や「おおね音楽祭」は中止となったが、感染症対策を講じたうえで、公民館まつりの代替事業をはじめ、小さな音楽会等を開催し、長引くコロナ禍で閉塞感が漂う市民生活に、少しでもリフレッシュできる機会を提供できた。また、今年度も毎日午後2回、公民館職員により館内の共用箇所の除菌作業を継続して実施し、利用者の安全確保に努めた。さらに予算確保が困難な中で、職員直営による公民館の環境整備(樹木管理、老朽化物の廃棄)に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>講座等実施時には参加者へのアンケート調査を実施し、参加者の声を今後の事業に反映するように努めた。</p> <p>密を避けるために多目的ホールを会場とし、感染症対策を講じたうえで公民館運営協議会を3回開催し、委員それぞれの立場から貴重な意見をいただいた。また、第2回協議会時にはオンライン開催となった「公民館長・公民館運営審議会委員等研修会」の研修資料を参考配布し、情報提供に努めた。</p> <p>毎日始業前に朝礼を実施し、職員間の情報交換、共有化とスケジュール確認など、円滑な業務運営を図った。また、職員1名が市消防本部主催の救急救命講習を受講し、緊急時の対応の習得に努めた。</p> <p>公民館ホームページをこまめに更新し、最新情報をタイムリーに発信した。また、館報を幼稚園、小中学校等の関係機関をはじめ、大根地区自治会への組回覧及び東海大学でも配架・掲示してもらい、公民館活動の周知に努めた。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>今年度から公民館長に「地域まちづくりコーディネーター」の役割が付加されたことにより、地域まちづくり計画を推進するための交付金活用の検討等を通して、地域との連携はより深まった。</p> <p>夏休み期間中の子どもの居場所づくりと学習支援を目的に実施してきた「学習室無料開放」は3年目となったが、今年度は地域コーディネーターをしたからこそ繋がりを持た「広畑自習・相談室」の先生方に教室に入ってもらい、子どもたちの相談に対応できる体制とした。その結果、昨年度よりも32名増の延べ79名の児童、生徒に利用いただいた。</p> <p>新型コロナウイルス拡大の影響により、「公民館まつり」については、昨年度に引き続き中止し、代替事業として「秋の発表会」を行い、「おおね音楽祭」については、結果として代替事業も中止となった。それぞれの代替事業に際しては、関係団体の意向を把握したうえで、十分な調整を図りながら進めてきた。</p> <p>昨年度は実施できなかった東海大学生による講座等について、今年度は2講座実施することができた。また、公民館まつりの代替事業の「秋の発表会」にはステージの部に東海大学の2つのサークルが参加し、若々しく熱いパフォーマンスを繰り広げてくれた。</p> <p>また、12月の「冬の小さな音楽会」では出演者を、また、2階のガラスケース内への作品展示を公募することにより、公民館からの一方的な提示ではなく、利用団体との双方向の事業の企画化にも努めた。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			<p>ソフト面での利用方法は概ね満足されていると思われるが、ハード面では、エレベーターの設置の要請は強、そのためにも公民館整備の方向性の早期明確化が望まれる。</p> <p>市役所の出先機関として公民館の役割も多種多様となっているため、利用者への案内は極力文字化して表示することで利便を図った。また、公民館敷地内の樹木等にネームプレートを掲示し、より公民館に親しみ、楽しんでもらえる工夫もした。</p> <p>図書室では利用者を歓迎する飾り付けをしたり、本への関心を誘起させるお勧め本のコーナーを設けたりして、利用者へ積極的に働きかけた。その結果、コロナ禍の巣ごもり需要もあいまって、貸出件数、冊数ともに昨年度よりも大きく伸びた。さらに、今年度も公民館展示(ごみ減量展)とのコラボ企画も実施した。</p> <p>6月に発生したチャドクガの駆除を機に、職員直営で樹木管理を進めるとともに、長年の懸案であった空調設備室外機の防音板撤去も完了した。</p> <p>なお、東海大学が構内立ち入りを制限したことにより、学生団体の流入が激増したことが特記できる。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	
<p>評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)</p>					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>令和3年度も国の緊急事態宣言の発出に伴い、9月に自主事業を中止せざるを得ない状況もあったが、予定していた事業は概ね実施することができた。残念ながら、3月のおおね音楽祭の代替事業は参加者の確保が困難となり中止としたが、10月の公民館まつりの代替事業「秋の発表会」は4団体により実施できた。利用者気持ちよく使ってもらうために、樹木の適切な管理や老朽化した施設の整備にも意を用いた。コロナ前に戻るにはまだまだ時間を要するものと思われるが、これからもウィズコロナを前提として、安全安心の施設管理、事業運営を継続していく。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>コロナ禍が続く中、感染拡大防止を図りながらの事業継続への努力や代替策を講じるなど様々な工夫に取り組み、予定していた事業をおおむね実施できたことは、十分評価できる。</p> <p>引き続き、これまでと同様に感染拡大の防止に最大限の配慮をし、誰もが安心して利用できる生涯学習の場の提供に努めてほしい。</p> <p>人員縮減の一方で、市役所の出先機関としての業務負担が増大しているとみられるが、関係機関・地域団体等との連携やボランティアの活用拡大なども望まれる。</p> <p>施設については、高齢者や障害者対策としてもエレベーターの設置が強く求められている。また、抜本的な施設更新の検討も課題だが、市役所の連絡所業務の事業継続や風水害時避難所であることを鑑みると、改修整備が必要な個所(雨漏りなど)への対策を優先的に講じられたい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>建物は古いですが、この地区は地域活動が盛んで、子どもから高齢者まで様々な活動が実施されている。また東海大学が近いため、学生ボランティアによる事業の支え、地区の行事への参加などをより促していくことが大事ではないかと思う。</p> <p>公民館が地域の要望に対応し「夏休み学習室開放」など学校とも連携が良く、大切な取り組みだと思う。今後も続けていただきたい事業である。</p> <p>大根地区は自治会、協力団体が地区行事に積極的であるので、これらと一体となった生涯学習・地域学習の拠点としての公民館活動を推進してほしい。</p>			

令和4年度(令和3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立東公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	29km ²	人口	16千人		
施設	開館年度	昭和56年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,063.86m ²		敷地面積	2,424.60m ²		
	室名	■集会室A ■集会室B ■和室 ■調理室 ■多目的ホール■小和室					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,151	1,158	1,554	2,909		
	前年度比	-13.8%	0.6%	34.2%	87.2%		
	参加者負担金	103	35	46	64		
	前年度比	-43.7%	-66.0%	31.4%	39.1%		
	軽印刷その他雑入	277	170	147	348		
	前年度比	-11.2%	-38.6%	-13.5%	136.7%		
	計	1,531	1,363	1,747	3,321		
支出	活動費(0101)	285	181	201	187		
	維持管理費(0102)	5,817	5,419	7,502	8,626		
	事務費 (0103)	人件費	9,544	9,438	10,450	10,589	
		その他	355	386	523	696	
	計	16,001	15,424	18,676	20,098		
	前年度比	-8.6%	-3.6%	21.1%	7.6%		
	営繕工事費(0200)	24,483	0	0	0		
指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考	
利用 状況	利用者数	28,162	14,050	18,634	37,000		
	利用件数	1,902	1,296	1,787	2,250		
	利用日率	56.5%	41.2%	54.1%	66.0%		
	コマ稼働率	22.7%	15.9%	20.6%	26.0%		
事業	事業日数	82	41	65	100		
	参加者数	5,393	683	788	5,500		
図書 室	利用者数	3,972	3,281	4,072	4,200		
連絡所	住民票等取扱件数	3,846	4,193	3,864	—		
その他	納税取扱件数	0	0	0	—		
令和3年度方針		地域の諸団体や地域人材との連携を強化し、地域の拠点としての公民館活動の充実を図る。また、市が進める環境管理システムにおける環境目標に沿った事業を積極的に展開する。					
令和3年度改善事項		公民館運営方針を見直し、よりいっそう地域のまちづくりの拠点としての公民館運営を心掛けた。また、地域の子どもの成長に寄与できるよう、事業を拡充するとともに、登下校時に、適切な子どもの見守りを行った。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会における委員からの提案や意見等を参考に、新規事業を実施するとともに既存事業の充実に努めた。また、利用者からの意見等を反映し、より良い施設の管理・運営に努めた。 公民館の自主事業等については、広報はだの、通信社への記事提供、ホームページによる事業紹介などに努めた。また、館内や他の公民館等へのポスター掲示、館報の地域自治会回覧、小学校へのチラシの配布するなどにより積極的な周知に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			地域の諸団体からの情報収集に努めた。事業の企画に当たっては、地域人材を講師として活用し、成果発揮の場を提供した。市民の学習成果発揮の場の提供は、公民館にとって重要な取り組みであり、今後も一層拡大していきたい。 公民館まつりをはじめ地域連携による事業の多くが実施できなかったが、感染防止に留意し可能な限り事業を実施した。 公民館は、生涯学習施設としてだけでなく、行政の出先機関として幅広い問合せ、相談があり、温かく、適切な対応を心掛けた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			コロナ禍において、公民館の利用制限もあり、利用者が満足する活動はできなかったと思われるが、安全・安心を念頭においた感染症対策、親切かつ丁寧な対応により、地域から愛され、親しまれ、笑顔で集っていただける公民館づくりに努めることができた。 図書室については、定期的にブック展を開催するとともに、本のディスプレイや配架等を工夫して、誰もがわかりやすい、見やすい、利用しやすい図書室づくりに心がけた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	前年度に引き続き、新型コロナウイルス拡大防止を目的とする利用制限が続く中、利用件数、利用者や参加者の減少、主催事業の中止などが続いた。主催事業については、感染防止を図りながら可能な限り実施することに努めた。 また、地域まちづくりについては、地域の課題把握に努めるとともに、地域のまちづくりを関係団体、住民、学校等と連携・協働して進めることができた。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	新型コロナウイルス拡大による制限がある中、展示開催に振り替えるなどの工夫により事業の実施に努めたことは評価できる。季節ごとの植物や野鳥などの野外観察活動は、多くの市民が参加の機会を楽しみにしている東公民館ならではの事業であり、コロナ禍でも感染リスクを減らすことができる屋外事業であるので、積極的に取り組まれない。小中学生の登下校時の安全確保、臨時駐車場の除草などが近隣住民と連携して行われていること、市の連絡所であることを理解した窓口対応なども行われており評価できる。 館報「はるたけ」は名前の由来、参加者の感想などを記載していくことなど、親しみの感じられる紙面づくりに配慮し、気軽に事業に参加いただけるように取り組まれない。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	学校との連携の持ちやすい環境にあり、常にPTAや子ども会、婦人会、自治会との活動に力を入れていることがわかる。特に地域性である、縄文土器について、新東名工事により多数出土していることから、子どもたちのための「土器を作ろう」、実朝の首塚があることに由来した講座などを積極的に行っており、この地域の特性を生かした活動が素晴らしい。 また、小中学校と連携して夏休み学習室の開放、子育てママのための「子育てサロン」の開設、養護学校の学生による公民館の清掃作業など、コロナ禍で行事を進めにくい中での工夫は良かったと思う。 図書室の利用人数はやや少ないようにも思えるが、市立図書館から遠いこともあり、地域住民にとって大切な場である。 今後とも、地域の方々の文化の伝承の場として頑張ってほしい。			

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立鶴巻公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	2.4km ²	人口	14.7千人		
施設	開館年度	平成2年度		構造	鉄筋コンクリート造2階建地下1階		
	延床面積	1,369.46m ²		敷地面積	1,936.09m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■コミュニティ室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,903	2,403	3,145	2,909		
	前年度比	-19.3%	-17.2%	30.9%	-7.5%		
	参加者負担金	57	27	10	63		
	前年度比	235.3%	-52.6%	-63.0%	530.0%		
	軽印刷その他雑入	187	137	142	229		
	前年度比	-22.4%	-26.7%	3.6%	61.3%		
	計	3,147	2,567	3,297	3,201		
支出	活動費(0101)	120	69	139	222		
	維持管理費(0102)	7,736	6,037	6,264	7,342		
	事務費 (0103)	人件費	11,678	9,854	10,035	10,719	
		その他	363	313	440	519	
	計	19,897	16,273	16,878	18,802		
	前年度比	6.5%	-18.2%	3.7%	11.4%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	4,884		
利用状況等	指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	37,226	20,657	26,502	30,000	
		利用件数	3,103	2,081	2,716	3,000	
		利用日率	69.3%	51.5%	64.7%	70.0%	
		コマ稼働率	29.2%	20.9%	26.2%	30.0%	
	事業	事業日数	51	28	29	35	
		参加者数	3,755	902	536	1,000	
	図書 室	利用者数	9,231	7,636	9,166	9,200	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,221	3,003	2,618	—	
	その他	納税取扱件数	22	3	2	—	
令和3年度方針		各種事業を実施することにより、地域住民の教養の向上を図るとともに、地域コミュニティ活動の拠点として、地域住民の自主的な活動を支援する。					
令和3年度改善事項		防災・減災サロンの実施回数を増やすとともに、防災マップ作りなど、地域特性を踏まえた意識向上に努めた。また、コミュニティホールを有効活用し、展示物等を定期的に入れ替えるなど、公民館利用者の教養の向上につなげるよう工夫した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	3			新規事業の実施に当たり、参加者アンケート結果、公民館運営協議会の意見に加え、市民提案も取り入れた。また、ホールの有効活用を図るため、様々なテーマで作品等の展示を行った。夏休み期間中には、学習の場の提供、健全な遊びのきっかけづくりなど、子どもを対象とした事業等も充実させた。 自主事業の周知には、広報はだの以外にもホームページの充実、組回覧、夏休み前には近隣の小・中学校(全学年分)へのチラシ配布を実施するなどにより、努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			自治会、学校との連携や市政懇談会などにより、地域課題を把握することができた。 秦野市防災アドバイザーの協力のもと、防災についての講習会を原則月1回開催し、地域特性を踏まえた防災意識の向上を図った。 また、校外活動の積極的な受け入れ、夏休み期間中の学習室無料開放の毎日実施、学習支援の場としての積極的な団体等の利用など、学習の拠点としての取り組みの充実に努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			丁寧な窓口対応を心がけ、話しやすく気軽に利用できる雰囲気づくりに努めた。 図書室は、年3回図書入れ替を行い、新着やおすすめ図書を目につきやすい場所に配置、特に児童書は入り口近くでジャンルごとに分かりやすくレイアウトするなど、利用者の利便性向上に努めた。また、館内の図書室からのお知らせにも工夫を凝らし、利用しやすく明るい環境づくりに努めた。 施設面では、利用者の安全確保のため、古い部品を交換するなどのエレベーター修繕を行った。これまで同様、老朽化による雨漏りが発生することもあるが、利用者に影響がないよう管理に努めた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>新型感染症による収容人数の制限が通年行われたことで、地域や団体、学校と連携した取り組みなどが十分にはできなかったものの、新規自主事業の実施やホールの有効活用、地域課題の共有や学習機会の提供などに取り組み、一定の成果は見られた。</p> <p>今後も学校、地域、団体との連携を深め、地域に根差した活動を実施していくとともに、利用者の利便を図りたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>新型感染症の影響で、地域の各種イベントが中止となる中、人数を絞り、感染症への対応を万全に行うため、夏休み期間中に子どもを対象とした新規事業(作って遊ぼう! 手作りおもちゃ)を実施し、交流の場を提供したことは、参加者から好評であったことから評価できる。また、「防災・減災サロン」は毎月開催し、防災マップ作りなどにより、地域の特性を改めて確認することができ、防災意識の向上につなげることができている。</p> <p>なお、施設面では経年劣化等が目につくことがあるが、皆が公民館を気持ちよく利用できるよう、修繕を含めた日常の管理に努めて欲しい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>鶴巻公民館の特徴である「防災・減災サロン」の取組は公民館がリードしてスムーズに進められていると感じる。公民館は地域学習・生涯学習の地区の拠点ではあるが、災害発生の際は避難所、災害拠点としての役割が多い。また、鶴巻地区は伊勢原市境に水田等の地域があることから、洪水の危険をはらんだ地区である。地域の要望を汲み取った事業の展開は良いことだと思う。</p> <p>また、この地域はマンション住人等子育て年齢も多く、子ども会等他団体の公民館利用による活動が多い。一方、高齢者向けの事業も充実している。</p> <p>さらに図書室は明るく広々としており、多種にわたる本が見やすく整えられている。このため、多くの図書室の利用者がある。今後とも地域学習・生涯学習の拠点として活動されたい。</p>			

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立上公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	12.4km ²	人口	1,953人		
施設	開館年度	平成5年度		構造	鉄筋コンクリート造り2階建て		
	延床面積	859.54m ²		敷地面積	1,176.16m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■多目的ホール ■集会室					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	766	738	1,106	2,909		
	前年度比	-33.3%	-3.7%	49.9%	163.0%		
	参加者負担金	27	20	20	64		
	前年度比	-3.6%	-25.9%	0.0%	220.0%		
	軽印刷その他雑入	91	69	80	69		
	前年度比	-21.9%	-24.2%	15.9%	-13.8%		
	計	884	827	1,206	3,042		
支出	活動費(0101)	153	139	162	178		
	維持管理費(0102)	4,886	5,536	5,697	7,259		
	事務費 (0103)	人件費	9,334	9,666	10,273	10,601	
		その他	358	311	415	638	
	計	14,731	15,652	16,547	18,676		
	前年度比	-12.2%	6.3%	5.7%	12.9%		
	営繕工事費(0200)	0	0	5,528	0		
利用状況等	指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	12,310	5,604	9,257	10,000	
		利用件数	978	588	967	1,000	
		利用日率	37.6%	24.0%	34.6%	35.0%	
		コマ稼働率	12.3%	7.8%	12.2%	12.0%	
	事業	事業日数	104	42	46	66	
		参加者数	2,823	608	730	1,800	
	図書 室	利用者数	1,303	1,287	1,659	1,600	
	連絡所	住民票等取扱件数	870	812	813	—	
	その他	納税取扱件数	19	27	3	—	
令和3年度方針		地域のまちづくり・生涯学習の拠点施設であるとの認識のもと、地域・幼稚園・小学校・利用者団体との良好な信頼関係の構築に努め、連携した各種事業に積極的に取り組んでいく。(かみ放課後子ども教室、公民館まつり、ひな祭り、納涼祭など) また、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、利用者の安全安心を第一に施設の管理運営に努める。					
令和3年度改善事項		公民館まつりについては、令和2年度から2年連続で中止となったが、3年度は代替事業(公民館活動団体の作品展示)を実施した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			運営協議会や利用者懇談会の意見を踏まえ、利用者の視点に立った運営に努めているが、令和3年度は2回目の運営協議会について、例年開催している時期が、まん延防止等重点措置期間であったため、書面開催となってしまった。職員の研修機会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため確保できなかったが、運営上の懸案事項等について職員間でよく話し合い、対応方法について検討することができた。公民館情報の発信については、館内掲示やホームページ、館報、広報はだのへの掲載などにより、自主事業等の周知に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくり関係については、総合計画地区まちづくり計画を通してまちづくり委員会への出席などによりまちづくりの課題を地域と共有している。 納涼祭、公民館まつり、ひな祭りなどは、自治会や関係団体、幼稚園・小学校が一丸となって取り組んできた事業であるが、新型コロナウイルスの影響により令和3年度も中止を余儀なくされた。 かみ放課後子ども教室については、登録児童数がこれまでで最も多く、児童の参加意欲も高いため、感染症対策を徹底し、できる限り開催に努めたが、一定期間は中止せざるを得ない状況であった。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	3	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			感染症対策のため施設利用に一定の制限をさせていただいたが、利用者から苦情等はなく、理解を得られていると考えている。引き続き良好な信頼関係を保ちつつ、住民が親しみやすい利用環境づくりに努めていきたい。 また、図書室については、季節ごとの壁面飾りを実施するなど、利用環境の向上に努め、利用者とは気軽なコミュニケーションを図りつつ、新着本の配架や紹介等を効果的に行うよう心掛けた。 設備等に対しても特段の苦情はないが、予算確保に努め適宜更新を図りたい。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	3	<p>公民館の利用状況は、新型コロナウイルス対策による利用制限があったものの、利用件数、人数、主催事業ともに令和2年度に比べ、回復傾向にある。主催事業については、公民館まつりの代替事業として利用団体の作品展示を長期間行うなど、工夫をしながら可能な限り実施するよう努めた。</p> <p>令和2年度、3年度と2年間にわたって、公民館まつりをはじめ地域連携による事業の多くが実施できていないが、上公民館ならではの事業については好評であり、地域、学校等の協力を得ながら、完成症対策に最大限配慮し、公民館が地域活動の拠点としての役割を果たせるよう努力していきたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>公民館まつりの代替事業として、新たに利用団体の作品展示を実施し、また、図書室の利用環境の改善に取り組み、利用者がコロナ禍以前よりも増加するなど、制約がある中でも職員の努力が伺える。放課後子ども教室は、市内では上公民館のみで行っているもので、多くの地域ボランティアに協力を得ながら十数年継続してきたことは評価したい。</p> <p>また、七夕や団子飾りなど、伝統的な年中行事の企画展示は、上地区の文化発信に大きく寄与するもので、今後も地域の中でのネットワークを大切に、地域の生涯学習やまちづくりの拠点として魅力ある公民館運営に努めてほしい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>新型コロナウイルス拡大により、上地区でも数多くの伝統行事が中止となった中、上地区ならではの伝統ある七夕飾りや団子づくりを大事にした行事は、市の広報やタウンニュースなどでも紹介され、周知されている。また、地元で多い田んぼを利用した生き物の調査隊、ホテル観賞会、ふるさと料理教室など、この地区に特化した活動を実施していることは評価する。</p> <p>「かみ放課後子ども教室」の運営については、今後も力を入れていただきたい事業である。</p> <p>施設は綺麗に整えられており、気持ちよく利用できる点が評価できる。新型コロナウイルスが落ち着けばまた、中止となった地区の行事についても復活することから、上地区にある公民館の存在意義を意識した公民館の運営を今後ともしていただきたい。</p>			

令和4年度(令和3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立渋沢公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	7.0km ²	人口	18千人		
施設	開館年度	平成7年度		構造	鉄筋コンクリート造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,467.15m ²		敷地面積	2,270.70m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室 ■多目的ホール ■音楽室 ■創作活動室					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,202	1,675	1,936	2,909		
	前年度比	-17.6%	-23.9%	15.6%	50.3%		
	参加者負担金	54	17	57	63		
	前年度比	-6.9%	-68.5%	235.3%	10.5%		
	軽印刷その他雑入	291	248	224	221		
	前年度比	-9.6%	-14.8%	-9.7%	-1.3%		
	計	2,547	1,941	2,217	3,193		
支出	活動費(0101)	155	100	152	180		
	維持管理費(0102)	6,351	7,061	6,990	7,233		
	事務費 (0103)	人件費	9,450	9,723	10,098	10,720	
		その他	372	320	466	521	
	計	16,328	17,204	17,706	18,654		
	前年度比	-3.8%	5.4%	2.9%	5.4%		
	営繕工事費(0200)	0	10,833	5,528	6,084		
指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考	
利用 状況	利用者数	27,979	14,590	19,799	25,000		
	利用件数	2,157	1,434	1,930	2,000		
	利用日率	62.3%	44.7%	59.7%	60.0%		
	コマ稼働率	21.5%	15.0%	18.9%	20.0%		
事業	事業日数	110	117	65	150		
	参加者数	4,766	1,433	1,433	4,500		
図書 室	利用者数	5,671	5,207	7,047	7,000		
連絡所	住民票等取扱件数	2,462	2,067	2,134	—		
その他	納税取扱件数	1	0	0	—		
令和3年度方針		渋沢丘陵など地域特性を生かし季節感のある事業を行うとともに、地域の交流拠点として子どもから高齢者まで、大勢の方々に来館していただけるよう、利用団体及び関係機関等との連携を図り、公民館活動を積極的にPRし、わくわく、生き生きできる公民館を目指します。					
令和3年度改善事項		新型コロナウイルスのため、利用時間や利用人数の制限を行うとともに、手指消毒、三密回避等更なる感染防止対策を徹底し、施設利用や自主事業を実施するとともに、館内に季節に応じた装飾を行った。駐車場への入退出時の注意書きや案内板及び施設内の各種資機材の取扱い方法等の表示を改めて行った。また、エレベーターや空調機器の故障に伴う修繕を実施し、施設の維持管理に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	3			講座参加者、施設利用者の要望、意見を聴取するとともに、渋沢丘陵や八重桜など地域及び地産特性を生かした事業を展開している。 公民館運営協議会を年2回開催し、事業運営に係る協議を行い、職員は、自主事業、公民館活動等について情報収集・共有・自己研さんを行っている。協議会委員の研修は書面開催が多かったことから、必要に応じ文書で研修内容の周知を図っている。なお、自主事業については、広報はだのやホームページを活用し発信、チラシを作成、館内に掲示するとともに、市内各館に配布、PRしている。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			公民館利用団体及び地域と連携し、ニーズの把握に努め、事業運営を行った。公民館まつりは、「通常開催」は中止し、代替事業として参加希望団体による発表並びに展示を実施した。 課題である「高齢化」に係る事業では、「渋沢ほっとサロン」の団体登録後、引き続き連携し健康維持などの事業を行っている。また、全国公民館連合会推奨の地域コミュニティ講座を実施した。学校関係では、渋沢中学校運営協議会、子どもを育む協議会にて、公民館として教育活動に参加している。 夏休みの学習室開放は、更なるPRを行い、地域の拠点として学習を伴う「居場所づくり」を継続していきたい。 コロナ禍、高齢化等により団体登録を廃止する傾向がある中で、自主事業からサークルを結成し活動を開始する団体があり、団体活動の新たな方向性として啓発していきたい。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	3	3	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			利用者や地域住民等に積極的に声掛けを行うとともに、展示や掲示物を整理し、明るく親しみやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。コロナ禍で施設利用に係る遵守事項を周知するとともに、公民館チェックシートにより、感染防止を図った。 備品使用に誤りがないよう取扱い方法を貼付、口頭説明を行い周知した。また、館内及び図書室では、季節ごとの壁面飾りを実施し、利用環境の向上を図った。更に図書室では、「家読」の推進活動を行っており、利用者は増加している。なお、施設の老朽化により、計画的な改修を行う必要がある。
	利用者への対応は適切か	3			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	3	3	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかつた(やや不十分) 1まったくできなかつた(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	3	コロナ禍で主催事業の自粛、利用制限を行ったが、感染防止対策を徹底し、実施可能な事業を行うとともに円滑な公民館運営に努めた。公民館まつりは代替事業として「発表」及び「展示」を実施した。また、施設設備及び故障箇所の修繕を実施、備品取扱い、施設案内表示及び季節の装飾等により利用環境整備を行った。このような中、利用者、参加者は昨年より増加している。引き続き地域・利用団体等と連携し、子どもから高齢者まで「生き生きできる公民館」となるよう、努力していきたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	3	コロナ禍において、利用時間の短縮、人数制限及び感染防止を徹底して公民館運営を行い、新しい生活様式の理解のもと、利用者数が昨年より増加したことは、明るい方向性を示している。 新型コロナウイルス対策は、引き続き感染状況に応じ、利用者と公民館が共通認識を持ち、利用や事業の制限、緩和について、メリハリのある効果的な対応を行うとともに、各事業の広報、利用環境を整備、施設の維持管理を行い、地域の拠点として円滑な公民館運営を確保していただきたい。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	新型コロナウイルス対策としてどのように活動していくかを考え、少人数での開催とすることにした点、確実な公民館活動の推進になったと思われる。ただし、人数を制限したため、従来あった高齢者と子どもが同時に参加できた事業が少なくなったが、そのような中でも夏休み七宝焼き、子ども科学館、ハロウィンアイシングクッキーづくり、落ち葉貼り絵教室など、子どもに合った教室を開催されている。中でも小6の生徒に、中学校になったら算数から数学に代わることから、中学入学前に体験してもらう「算数から数学へTRY」など独自の教室があり、評価できる。このように利用者が安心してできる取り組みを提示のうえ、様々な事業の展開がされている。地域の希望や必要度を踏まえた事業の展開、学校運営協議会への参加は地域に存在する公民館の役割と考えられる。図書室の利用者は増加している。きちんと整理された展示の工夫をはじめ、子どもたちへの「家読」の提案が面白い。今後、地元特産の八重桜、夏みかん等を利用したジャムや菓子作り等、地元で特化した活動を模索してほしい。			

令和4年度(令和3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立本町公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	20千人		
施設	開館年度	平成8年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,613.58m ²		敷地面積	1,500.25m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室A ■集会室B ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,970	2,588	3,787	2,910		
	前年度比	-15.1%	-34.8%	46.3%	-23.2%		
	参加者負担金	81	38	96	64		
	前年度比	-3.6%	-53.1%	152.6%	-33.3%		
	軽印刷その他雑入	431	194	294	519		
	前年度比	-16.5%	-55.0%	51.5%	76.5%		
	計	4,482	2,820	4,177	3,493		
支出	活動費(0101)	448	192	177	195		
	維持管理費(0102)	10,093	7,615	8,744	7,856		
	事務費 (0103)	人件費	9,745	9,582	10,222	10,719	
		その他	440	365	525	542	
	計	20,726	17,754	19,668	19,312		
	前年度比	6.1%	-14.3%	10.8%	-1.8%		
	営繕工事費(0200)	0	0	1,210	36,834		
利用状況等	指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	70,523	26,658	42,868	51,300	
		利用件数	4,462	2,456	3,663	4,300	
		利用日率	83.1%	57.3%	77.5%	80.0%	
		コマ稼働率	41.1%	23.3%	33.2%	35.0%	
	事業	事業日数	47	37	60	64	
		参加者数	3,546	418	1,770	2,100	
	図書 室	利用者数	12,293	11,063	13,933	14,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	その他	納税取扱件数	24	15	17	—	
令和3年度方針		地域の生涯学習やコミュニティの活動拠点として、地域の様々な団体や利用者などと連携・協働しながら、事業の展開を図っていくとともに、利用者ファーストを念頭に、親切・丁寧な対応により、利用者をはじめ来館者が安心して快適に利用できるよう努めていく。					
令和3年度改善事項		月1回全職員による打合せを開催し、職員間の情報交換や公民館運営の共通認識を図るとともに、窓口対応3カ条を定め、利用者サービスの向上に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			利用者説明会や公民館連協議会での意見聴取をはじめ、講座終了後のアンケートや窓口での利用者とのやり取りなどを通じて、住民ニーズの把握に努め、その結果を自主事業の見直しや公民館の運営に生かした。とくに年3回開催した公民館運営協議会では、新規事業や公民館まつり代替事業の方向性などについて貴重な意見や提案をいただいた。 コロナ禍において職員の研修機会は少なかったが、関係資料を提供し情報共有を図り、自己研鑽を促した。また、定期的な話し合いの場を設け円滑な業務運営に努めた。 自主事業の周知は、広報はだの以外に、年6回発行の公民館だよりやホームページの充実を図り、タウン誌への積極的な情報提供に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			自治会をはじめ地域の諸団体や公民館利用団体等との連携を密にするとともに、市政懇談会への出席などを通じて、地域課題を把握するとともに、まちづくりの拠点として各種団体が活動しやすい環境の確保に努めた。 自主事業の企画運営に当たっては、多くの地域人材を講師や実行委員として活用し、住民ニーズに沿った学びや活動の成果を発揮する機会をより多く提供した。また、講座参加者の新規サークルの立ち上げを支援するとともに、他館にない展示コーナーでの地域の特色ある展示事業にも取り組んだ。コロナ禍において近隣の学校や幼稚園、こども園とは、十分な連携ができなかったものの、こども園新採用職員の職場体験の受け入れや、「手話教室」や「マジック教室」など多くの子供向けの事業に取り組み、活動や交流の場を提供した。また、行政のサテライトとして、幅広い行政情報や地域情報の提供や相談が求められたが、適切な対応に心掛けた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	3			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			隣接する大型商業施設への通り抜けも含め多くの人が訪れる環境において、積極的な声掛けや挨拶を励行するとともに、窓口対応3カ条を設けて、利用者への親切・丁寧な対応に努めている。 また、気軽に訪れる環境づくりに向け、その立地を生かし、ロビー内に様々な情報媒体を掲出するとともに、季節の節目ごとに年中行事の展示を行っている。 図書室では新着や時節に合わせた蔵書を分かりやすく紹介するとともに、利用者に対するレファレンスにも力を入れ、サービス向上に努めている。 施設整備では、自動ドアや受水槽給水ポンプの更新を実施したが、今後、長寿命化に向け計画的な改修を行う必要がある。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職員	4	コロナ禍の中で中止せざるを得ない自主事業もあったが、「アフタヌーンコンサート」や「演芸フェスティバル」などの新規事業や東京五輪の機運醸成を図る「演奏でつづる五輪の旅」など時宜を得た事業、公民館まつり代替事業「本町ささやかな活動発表会」などに取り組み、限られた条件の中でも、実施方法の工夫等に努め安定した来館者を得るとともに、利用団体等の発表の機会を提供することができた。 今後も生涯学習やまちづくりの拠点となるよう、地域に根差した活動に取り組むとともに、利用環境の向上に努めていきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	コロナ禍において様々な制約がある中、職員が創意工夫し、安心安全な利用環境の確保や、利用者ニーズに合った事業の展開に努めるとともに、人通りの多い1階ロビーや展示コーナーを積極的に情報発信の場として活用していることは評価できる。 さらに、利用者や連携・協力した公民館運営を進めるため、今後、利用者の生の声を聞く機会や仕組みを検討してほしい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	秦野市の中心部にある公民館で、市内でも利用率が高い公民館である。本町公民館は地区の公民館というより、市内の中央公民館的な位置付けとなっている。また、大型商業施設に隣接していることから、施設利用としては、買い物ついでに立ち寄る人も多い。 このような中、子ども向けの講座、親子での参加行事、教養講座なども多く、満遍なく活動を展開している。また、図書室の幼児スペースや展示スペースも広く、来館する人の足を止める展示も多い。 しかし、利用については、本町地区よりも他地区の団体の利用が多く、その反面、本町地区の子どもの関する活動拠点は、はだのこども館、本町地区の行事の会場は本町小学校等学校施設となりやすい。 今後は、本町地区の自治会や本町地区学校連絡協議会などとの連携について、工夫が望まれる。

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南が丘公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	3.0km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成9年度		構造	RC一部鉄骨造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,490.84m ²		敷地面積	2,752.63m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動 ■音楽室 ■和室 ■集会所 ■セミナー室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,082	2,543	2,854	2,915		
	前年度比	-11.7%	-17.5%	12.2%	2.1%		
	参加者負担金	11	7	16	64		
	前年度比	0.0%	-36.4%	128.6%	300.0%		
	軽印刷その他雑入	265	256	288	348		
	前年度比	-3.3%	-3.4%	12.5%	20.8%		
	計	3,358	2,806	3,158	3,327		
支出	活動費(0101)	160	160	138	186		
	維持管理費(0102)	8,201	6,605	6,725	8,794		
	事務費 (0103)	人件費	9,414	9,841	10,200	10,720	
		その他	368	317	459	524	
	計	18,143	16,923	17,522	20,224		
	前年度比	3.9%	-6.7%	3.5%	15.4%		
	営繕工事費(0200)	2,222	2,695	0	5,564		
利用状況等	指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	43,351	23,768	29,599	45,000	
		利用件数	3,577	2,363	3,146	4,000	
		利用日率	70.3%	55.0%	70.8%	75.0%	
		コマ稼働率	28.6%	21.4%	26.8%	30.0%	
	事業	事業日数	67	39	55	70	
		参加者数	1,552	345	727	1,600	
	図書 室	利用者数	9,384	8,190	10,524	10,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,098	4,191	3,839	—	
	その他	納税取扱件数	11	22	64	—	
令和3年度方針		令和3年度の南が丘公民館運営方針として、地域に開かれた公民館を目指し、誰もがつどい、まなび合う環境の整備に努めること、地域の人びとの生活課題を解決するための、情報提供及び学習活動への援助・助言に努めること、各種団体やサークル活動の支援に努めること、ロビーワークを重視した運営の展開に努めること、市内公民館との連携協働の強化に努めること、関係機関や地域の諸団体との連携協働の強化に努めること、最後に施設の適切な維持管理に努める。					
令和3年度改善事項		令和3年1月7日に新型コロナウイルスの対策のため2回目となる緊急事態宣言が発令され3月21日まで継続、同年4月16日、まん延防止等重点措置が適用され、変異株を中心に流行、この間ワクチン接種も進んだが、8月22日までまん延防止が延長、東京オリンピックも無観客で開催された。この間、8月2日～31日まで緊急事態宣言更に延長され、9月30日にすべての解除。今年、令和4年1月21日～3月21日の間を、再度蔓延防止期間となった。この間、公民館では、自主事業の際には感染防止のため、体温測定や手指消毒の徹底などを行うと共に、部屋の貸し出しに当たり感染予防チェックシートの提出や、除菌水を提供するなどの対策を徹底した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>利用者説明会での意見及び公民館運営協議会委員の意見を参考に自主事業の見直しを図り、事業の充実に努めた。令和3年度は公民館運営協議会を年2回開催(1回は書面開催)した。その他にも適宜、新型コロナウイルス感染症にともなう施設の利用制限・対策などの情報を委員・利用者に提供した。</p> <p>また、隣接する南が丘小中学校運営協議会や、南が丘中学校区豊かな心を育む協議会、南地区教育懇話会の構成メンバーとして関わることができた。また、公民館自主事業の実施にあたり、広報はだの以外にも、公民館報(プロシード年3回)やホームページを随時更新するなど周知を図った。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>公民館利用団体、南地区きれいな住みよいまちづくり運動推進委員会の構成団体、各自治会との連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。</p> <p>また、コロナ禍での公民館まつりについては、代替事業として7団体140名が参加して成果発表会を開催することができた。</p> <p>毎年、団体の活動内容や会員募集状況が分かる利用団体一覧表を冊子としてまとめ、参加希望者へ配布するとともに、この冊子により学習相談に応じ、公民館が団体と利用希望者との仲介役となっている。</p> <p>今後とも、公民館利用団体が増加するよう、情報の収集・提供に努めたい。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	3			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			<p>高木の落ち葉の処置について、近隣住民から要望があったことから、民地寄りのケヤキ2本の剪定を行った。また、大規模事業の開催時に駐車場の不足などで利用者からの要望があることから、近隣のこども園・小・中学校の駐車場を臨時駐車場として借用できるよう連携をとっている。今後の修繕計画(トイレ改修・外壁防水工・LED照明化等)への取り組みを計画的に進めたい。</p> <p>また、利用者の方に気持ちよく施設を利用していただくために、職員全員で、あいさつや明るく丁寧な窓口対応を心掛けている。館内では、ロビーの掲示物・掲出物について、整理・整頓し、見やすく明るい雰囲気づくりに努めた、特に、時期によって求めが多いゴミの分別カレンダーや人間ドック申込書などは、すぐに案内できるように工夫している。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	4			
		評価	4	4	
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>公民館では、新型コロナウイルス対策のため、自主事業の際に、体温測定や手指消毒の徹底するとともに、部屋の貸し出しに当たり感染予防チェックシートの提出や、アルコール手指消毒や除菌水などによる感染防止に努めた。引き続き市民向けに公民館で生成した除菌水の配布も行った。そのほか、不具合が生じていた創作活動室の電気炉の修理や陶芸用灯油窯のオーバーホールを行うとともに、落ち葉の飛散防止のため高木の剪定を実施した。今後とも、親切・丁寧な窓口対応を心掛け、利用者の利便性を図りたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>近隣住民の要望に応じた樹木の伐採(落ち葉対策)や創作活動室の備品の修繕など、利用者や市民の要望に応えた施設整備ができており、1・2階のロビーも展示物やチラシ・ポスターなどが見やすく、工夫され整理・整頓ができています。また、南が丘元気っ子クラブ子ども会の活動について、公民館での重点事業として、ボランティアスタッフと公民館との協働により継続していただきたい。また、市民の安心安全のために公民館の避難所機能の拡充や新型コロナウイルス対策などが毎年のように充実されている。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>コロナ禍の中、感染予防に力を入れて、活動団体の利用のしやすさに心がけて、職員がいつも対応している。公民館が南が丘地区の幼・小・中・高と地域との連携を担うなど、社会教育の中心を担う存在になっている。</p> <p>開館当初から南が丘といえば、南が丘元気っ子クラブ子ども会というほど子ども会の活動が盛んで、南が丘公民館もこの活動を協働で実施しており、公民館の力とその姿勢は大変良い。さらにボランティアスタッフは地元の方が多く、地域一帯の活動となる。</p> <p>南が丘が造成された当初は子育ての若い住人が多かったが、現在では世代交代が進んでいる。今後は南が丘元気っ子クラブに頼らない自主活動も、期待したい。</p>			

令和4年度(3年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立堀川公民館					
職員数		8名 (内訳) 会計年度任用職員 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	1.0 km ²	人口	6.0 千人		
施設	開館年度	平成16年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,496.48m ²		敷地面積	2,430.76m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■創作活動室 ■多目的ホール ■集会室 ■音楽室					
【単位:千円】		31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 実績額	4年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,518	2,976	4,146	2,909		
	前年度比	-11.2%	-15.4%	39.3%	-29.9%		
	参加者負担金	53	28	38	40		
	前年度比	-23.2%	-47.2%	35.7%	5.3%		
	軽印刷その他雑入	266	212	230	328		
	前年度比	-21.1%	-20.3%	8.5%	42.6%		
	計	3,837	3,224	4,414	3,277		
支出	活動費(0101)	194	170	189	158		
	維持管理費(0102)	7,523	7,115	7,570	7,529		
	事務費 (0103)	人件費	9,517	9,771	13,681	14,782	
		その他	380	298	439	521	
	計	17,614	17,354	21,879	22,990		
	前年度比	-4.6%	-11.5%	26.1%	5.1%		
	営繕工事費(0200)	286	0	7,405	5,694		
利用状況等	指標名		31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 実績値	4年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	44,058	24,013	32,344	35,000	
		利用件数	377	2,754	3,717	4,000	
		利用日率	78.0%	51.0%	80.5%	81.0%	
		コマ稼働率	37.9%	29.7%	37.6%	40.0%	
	事業	事業日数	129	30	43	50	
		参加者数	5,039	445	657	720	
	図書 室	利用者数	6,285	5,372	6,372	6,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	5,903	3,245	3,992	—	
	その他	納税取扱件数	28	6	2	—	
令和3年度方針		<p>新型感染症予防対策に取り組み、来館者が安心し、気持ちよく利用できる公民館を目指す。その上で、生涯学習の拠点として、地域のニーズに合わせた自主事業を積極的に展開するとともに、学習の成果を、多くの方が発表できる場としての機能を大切にし、活動意欲を喚起していきたい。また、堀川小学校のコミュニティースクール推進事業に積極的に取り組みたい。</p>					
令和3年度改善事項		<p>新型感染症対策は、公民館利用者の皆様のご理解とご協力により、成果を上げることができた。また、玄関庇の防水工事や空調、ブラインドの修繕等、必要に応じて速やかに対応し、利用者の利便性の向上に努めた。自主事業については、年間計画に従って着実に実施するとともに、計画にはないが、細密画教室など柔軟に対応し、参加者の感想も好評であった。</p>					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会及び利用者説明会では地域住民や公民館利用者の意見・要望を聴取し、また、講座受講者にアンケート調査を実施し、公民館運営に関わるニーズの把握に努めた。 新型コロナウイルスまん延防止への対応のため、研修会等への参加機会を確保することは難しかったが、公民館職員相互の情報交換の場を大切にし、共通理解に基づいた事務処理の適正化に努めた。 自主事業講座については、広報はだのやホームページ、必要に応じてタウンページを活用して情報発信に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	2			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			公民館職員の多くが堀川地区在住であり、また地域の方々の会合やサークル活動で頻繁に公民館が利用されていることもあり、地域とのつながりは、密接であると考え。また、堀川小学校運営協議会の委員としての参加等を通して地域課題の情報収集に努めた。 地域の自然保護団体と連携した「ホテル観賞会」や、秦野市ボランティア協会と連携した「里山めぐりハイキング」を実施した。また県立地球博物館学芸員による講座や、地域講師を招いてのバードウォッチングを新たに実施するなど、関係団体等と連携した講座を充実させることができた。 「絵画・書道・手芸展」や「工芸・陶芸・写真展」を開催し、学習成果の発表の場とすることができた。 また、こうした展示会は、公民館利用者相互の情報交換や啓発に資することができていると考える。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			公民館利用者の協力や公民館職員の間環境整備の取り組みにより、明るく清潔で利用しやすい施設として、評価をいただいている。しかし、開館以来17年を経過し、空調機器やブラインドカーテン等の老朽化が目立ってきている。不具合の発生した時は、その都度、迅速に整備してきたが、抜本的な修繕が必要で、利用者への負担となっているものもある。 図書室を含め、大人から子どもまで、来館者がいつでも気持ちよく公民館を利用できるよう、館内整備や挨拶・声かけに努めることができた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	3	3	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	3	新型コロナウイルス対策のため、利用時間や人数に制限もあったが、来館者が安心して公民館を利用できるよう、公民館の運営を図ったり、利用者のニーズに合わせた講座を開設に努め、年間の利用者は、ほぼ、コロナ発生以前の状況に近くなったことは評価できる。施設の老朽化に対する、施設利用者からの要望については、担当課との連携を図り、今後、速やかに改善を図る必要がある。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	3	新型コロナウイルス対策に誠実に取り組んだことにより、公民館の運営に制約がある中で、利用者が安心して利用・活動できるよう運営され、地域住民にとっても、利用しやすく身近な公民館となっていた。自主事業についても、より豊かな講座を提供され、良い生涯学習の場となっていた。施設の老朽化に伴う空調等の不具合が随所に見られ、早急で計画的な対応が必要となっていることが現在の課題と考える。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	新しい住宅地が広がり、比較的若い世代が多く、人口も多いことから、それに向けた講座、活動を実施しているように見受けられる。地域の団体、地元小中学校との連携も良く、地域の自然に特化したヘイケボタル鑑賞会、里山ハイキング油絵教室など多彩な活動を実施している。こうしたことから、地域の自然保護団体やボランティア協会との連携が生まれ、公民館活動をより奥深いものとなるような、地域に根差した公民館活動は評価できる。 今後新たなニーズに対して、講座等を開催してほしい。			